浜 松 市

市民が育む歴史と風土に根ざした暮らしの景観「川名ひよんどりの里」

～地域型コミュニティとテーマ型コミュニティの連携による地域の魅力再発見～

取組概要

浜松市では、歴史的風致維持向上計画及び文化財保存活用地域計画の国認定(いずれもR3年度)を機に、自然・歴史・文化を活かしたまちづくりを推進しています。

市北部の中山間地域に位置する浜名区引佐町川名集落は、国指定重要無形民俗文化財「川名のひよんどり」が継承されている山里です。伝統行事を核とした地域社会維持の取組のほか、保存会(川名ひよんどり保存会)とＮＰＯ法人など(NPO法人わたぼうしグランドデザイン・一般社団法人College Impact Japan)が連携し伝統と変革を融合しながら新たなコミュニティを創造することで、歴史的な農山村景観の保全に努めています。

【川名川と水田(６月)】

【昭和10年(1935)の様子】

【沢沿いの棚田と巨岩】

【伊豆神社と八日堂】

【段々畑での花木栽培】

「川名ひよんどりの里」とは・・・

▸自然：東西約1.5km、標高100～130mの小盆地。
盆地の東から西へ小河川(川名川)が流れる。
地質的には秩父中古生層に位置し、集落内に奇石・巨岩が点在。

▸歴史：国指定史跡三岳城跡に代表される井伊家ゆかりの史跡・建造物・伝承地が所在。
H29大河ドラマ おんな城主直虎の舞台。

▸生活又は生業：川沿いの平地は水田、斜面地は段々畑として利用。段々畑では花木の生産が盛ん。
「川名のひよんどり」や氏神様(伊豆神社)の祭など農事や山仕事に関連する行事が継承。

◆伝統行事「ひよんどり」を核とした地域社会の維持継承

◆地域型コミュニティとテーマ型コミュニティの連携

▸川名ひよんどり保存会を中心に、子供から高齢者まで地域住民が一体となり、歴史的景観を今に伝える「川名ひよんどりの里」の景観形成に取り組んでいる。
［歴史的建造物保存修理や史跡看板設置など景観資源の磨き上げ］

▸中山間地域におけるコミュニティ(地縁に基づく地域型コミュニティ)活性化の新たな形として、伝統行事「ひよんどり」を核に、学生団体・ＮＰＯ法人・一般社団法人といった多様な主体（テーマ型コミュニティ）との連携を図っている。
［担い手確保、情報発信］

【正月4日に行われる川名のひよんどり】

【保存会・NPO法人・一般社団法人が連携した取組】